

「北九州市地球温暖化対策実行計画・環境モデル都市行動計画」の
検討状況について（市民意見の募集結果）

1 市民意見の募集期間

平成 28 年 6 月 22 日（水）から 7 月 21 日（木）まで

2 意見提出状況

- (1) 提出者数 12 人・団体
- (2) 意見総数 63 件
- (3) 提出方法
 - ・ 持参 1 人・団体
 - ・ FAX 2 人・団体
 - ・ 電子メール 9 人・団体
- (4) 提出された意見の内訳

項 目	件数
1.全体に関すること	3
2.背景と目的に関すること	1
3.現状分析と将来予測に関するもの	2
4.計画の目標に関するもの	6
5.目標達成に向けた取組の方向に関するもの	1
6.温室効果ガス削減に向けた具体的な取組に関するもの	16
(1)環境が先進の街を創る	(3)
(2)環境が経済を拓く	(2)
(3)環境が人を育む	(3)
(4)環境が豊かな生活を支える	(4)
(5)環境がアジアの絆を深める	(4)
7.気候変動への適応策に関するもの	6
8.計画の推進に関するもの	5
9.資料に関するもの	14
10.その他	9
計	63

(5) 計画への反映状況

項 目	件数
①計画に掲載済（一部掲載を含む）	26
②計画の追加・修正あり	17
③計画の追加・修正なし	11
④その他	9
計	63

「北九州市地球温暖化対策実行計画・環境モデル都市行動計画」(素案)に関する
意見の概要と北九州市環境審議会の考え方

反映結果

- ①計画に掲載済(一部掲載を含む)
- ②計画の追加・修正あり
- ③計画の追加・修正なし
- ④その他

No	意見概要	環境審議会の考え方	反映結果
1 全体に関するもの			
1	北九州市では本当に多くの事業が計画、実施されているのだと改めて知ることができました。海外での水道事業など、環境に力を入れて取り組んでいることは知っていましたが、規模の大小、分野、期間など様々で、環境モデル都市、環境未来都市に選定されるのも十分納得させられる内容だと感じる。	今後も、計画のPR・周知に取り組んでまいります。	①
2	具体的な取り組み内容が分かりやすくまとめられていたが、今回の計画から新たに加わった内容が分かるように掲載してもらいたかった。	計画の周知に当たっては、内容を要約したパンフレット等の作成を検討しております。今後、計画の周知にあたり、ご指摘の点に留意しつつ取り組んでまいります。	③
3	全体として、書き方、表現・デザインの工夫など、もう少し市民から意見を出しやすい計画書を作成してはどうか。	今後、計画の周知にあたり、ご指摘の点に留意しつつ取り組んでまいります。	③
2 背景と目的に関するもの			
4	「背景と目的」に「持続可能性」、「持続可能な社会」などの表現を入れてはどうか(SDGsが世界的な基準となった今「Sustainable」の表現は必須だと考える。)	ご意見を踏まえ、修正しました。	②
3 現状分析と将来予測に関するもの			
5	p10 (6)文中…CO2の吸収源となる森林の面積を読み取っているが、メタンの発生源となる水田の面積は必要ないのか。	ご意見を踏まえ、修正しました。	②
6	p21 表3-4…表3-1、表3-2と異なり、将来予測値からの削減率を記載している。統一すべきではないか。	「取組の目安」は、名称のとおり市民や事業者の皆さんが省エネ等に取り組む際の目安として設定したものであるため、将来の時点における削減量を明示することとして自然減少分(BAU)を排除してお示しております。	③

No	意見概要	環境審議会の考え方	反映結果
4 計画の目標に関するもの			
7	取組の目安として、家庭、業務、運輸部門で単位世帯・床面積・自動車台数あたりのCO2排出量を示すのは、排出係数の改善を示すことになるので良いと思う。排出係数の改善は、個人の選択(低炭素な電源や省エネ製品の選択)等を通じて実現するので、市民向けの教育にも有効だと思われる。また、国や他都市との比較することで、市民にも北九州市の取組の状況が認識し易くなるものと思われる。	今後も、「取組の目安」の周知等を通じ、低炭素社会づくりに取組んでまいります。	①
8	アジア地域を含めた広域での地球温暖化防止の取組を市の計画として定めていることは、他の自治体にはない独自の特徴的な取組と思われるので、もっと強調してもよいのではないかと。	第7章の計画の推進において記載した「環境首都レポート」などを活用し、効果的なPRIに取組んでまいります。	①
9	「p20 3 アジア地域における目標 表3-3」の数値についてその削減量はどのような意味、意義があるのかももう少し詳しく説明していただきたい。	本市が今後とも環境国際協力や技術移転等に積極的に取り組むことにより削減されるCO2の量を目標として示したものです。	③
10	「2 市域における目標」(p.18-19)は、見せ方の問題だとは思いますが、温暖化対策実行計画なので、温暖化の原因とされる「CO2の削減率」をまず見せて、その後に補助的な指標である「エネルギー消費量の削減率」を見せるべきではないかと。	第2章では、エネルギー消費量の次にCO2排出量を掲載していることから審議会での意見を踏まえて、第3章についても同様の順番に統一したものです。	③
11	p19 表3-1…例えば2020年度の場合、図2-10によると追加的な対策を講じなくても2005年比で3%減少するので、削減対策によって8%減少するのではなく、16.2から15.4へ5%減少するのではないかと。以下2030年度、2050年度も同様である。	各目標年度の削減量は、基準年(2005年度)の排出量との差分で示すことになっています。ご理解願います。	③
12	表4-1(p.29)にBAU減少が含まれているが、これは本計画が無くとも実現される減少分であると思われることから、ここに含めるのは不適當ではないかと。	前述のとおりですので、BAU減少を除外する方が不適切となります。ご理解願います。	③

No	意見概要	環境審議会の考え方	反映結果
5 目標達成に向けた取組に方向に関するもの			
13	未来の構築は、次世代の育成が鍵を握り、「環境が人を育む」一方で、人が環境をつくる時代でもあるため、子どもたちへの普及・教育が不可欠である。	本市も同様に考えており、計画に記載のとおり、「子どもの環境教育の推進」などを通じ、取組を進めてまいります。	①
6(1)環境が先進の街を創る			
14	北九州ニューグリーンフロンティアプランに賛同します。特に、産業部門において社環境方針に基づきまして、高炉スラグの有効利用や石炭代替燃料の拡大などを柱にして、これからも本プランに積極的に貢献しています。	地球温暖化対策は、産学官民が一体となり進めていくことが重要であるため、今後とも市内事業者の皆様と連携を図りながら、取組を進めてまいります。	①
15	城野ゼロ・カーボン先進街区形成事業について詳細や写真を見て、率直に自分も住んでみたいという気持ちになりました。環境に配慮されているので子どもやお年寄りにも優しく、公園や集会施設を利用することで住民同士の交流も図ることができ、駅周辺なので交通のアクセスも良い、とても住みやすい街だと思いました。さらに、駅や住宅街など近代的なデザインの建築物と木々の緑がうまく調和しており、景観的にも住みたくなるような街だと感じました。未使用地がこんなにも魅力的な街に生まれ変わるなど、素晴らしい事業である。	担当部署にご意見を伝えるとともに、引き続き取組を進めてまいります。	①
16	スタジアム整備事業について、小倉駅から500メートルという立地条件により、交通の便がよく、「スタジアムプラザ」や「にぎわいプロムナード」といった周辺施設との相乗効果も期待でき、地域の活性化につながる素晴らしい事業だと感じ、環境未来都市として、資源の再利用や省エネ、低炭素交通によるアクセスの促進など、環境に配慮したエコスタジアムであることが魅力の一つにあげられる。	担当部署にご意見を伝えるとともに、引き続き取組を進めてまいります。	①
17	2020年の削減目標と個別の取組に伴う削減見込量を積上げた値が明らかに整合していない箇所がある。更新漏れがあるのではないか。	ご指摘ありがとうございます。確認作業を行ったところ、数値が正確に反映できていなかった箇所があったため、該当する表(p53)を修正いたしました。	②

No	意見概要	環境審議会の考え方	反映結果
6(2)環境が経済を拓く			
18	北九州市のCO2排出量の約7割が産業部門由来であることから、当該部門の取組で大幅の削減を目指しているのは妥当と言える。オールジャパンの取組を支援する形となるようだが、市独自の支援制度や仕組み等をしっかり検討して欲しい。	計画に記載のとおり、本市独自の支援制度である「中小企業への省エネ設備の導入促進」などを通じ、引き続き、取組を進めてまいります。	①
19	G7でも取り上げられた水素についてもっと取り組むべきではないか。	計画に記載のとおり、「水素エネルギー社会構築推進事業」などを通じ、今後とも積極的に取組を進めてまいります。	①
6(3)環境が人を育む			
20	<p>自然環境に対する豊かな感受性を育み、自然への畏怖、畏敬の念を涵養するような、子どもたちの人間形成に有に機能する自然活動や環境教育が重要な意味を持つため、教育・普及できる関連機関(施設)の連携が重要であるため、以下のとおり追記してはどうか。</p> <p>第5章 2(3)(a)-6 子どもの環境教育の推進 ①就学前教育 環境ミュージアムでのエネルギーやごみの問題など身近な内容の学習体験の他、「<u>多様な自然環境を楽しみながら学ぶ、いのちのたび博物館のジオツアー・ジオハイキングなど自然活動</u>」や山田緑地の自然体験型プログラムを有効活用し、さらに、絵本型環境教育副読本や食育等を学習するESDカードゲーム型教材などを用いて、未就学児童に楽しくわかりやすく環境についての興味・関心を高める。</p>	ご意見を踏まえ、修正しました。	②
21	教育はすべての取組の基盤となるので、ESDや環境学習の「量」だけでなく、「質」の向上を目指す内容をいれてはどうか。	担当部署にご意見を伝えるとともに、今後、取組を進める上で、参考とさせていただきます。	③
22	第5章温室効果ガス削減にむけた具体的な取り組みの「環境が人を育む」に「エコタウンセンターの見学システム(リサイクル・次世代エネルギーパーク)活用」を入れてほしい。次世代エネルギーパークは「産業部門」に掲載がありました。	ご意見を踏まえ、修正しました。	②

No	意見概要	環境審議会の考え方	反映結果
6(4)環境が豊かな生活を支える			
23	今年上半期の世界の平均気温が1880年以降の観測史上で最高だったことや、北極海の氷の範囲が最小を記録したことをニュースで知り、地球温暖化の急激な進展に驚き不安に感じました。そこで、温室効果ガス削減にむけた具体的な取り組みに「家庭部門」が行えることをもっと取り入れて欲しい。	計画に記載のとおり、「家庭におけるエコライフの推進」や「ノーマイカーデー」などを通じ、各家庭のライフスタイルに応じて取組を進めていただくこととしております。今後、優良な取組等について、「環境首都レポート」を活用し、周知に努めてまいります。	①
24	家庭における取組を推進するにあたり、どのように行うのか。		①
25	「省エネ王コンテスト」の参加も良いが、どの家庭でも簡単に取組めることもやってほしい。たとえば、消費電力量の多い夏季と冬季の電気使用量を前年度より減らした家庭にポイントや特典を付与する等。	「ていたんポイント事業による環境活動の促進」に示したとおり、今後とも対象となる環境活動の追加などを検討してまいります。	①
26	家庭における北九州方式生ごみ堆肥化事業の推進について、全市的に普及を進めるにはハードルが高いのではないか。	担当部署にご意見を伝えるとともに、今後の取組を進める上で、参考とさせていただきます。	③

No	意見概要	環境審議会の考え方	反映結果
6(5)環境がアジアの絆を深める			
27	<p>アジア低炭素化センター推進事業について、かつて工場排水などによって公害問題が発生したことで、環境問題に積極的に取り組み続け、環境モデル都市、環境未来都市に選定されるまでに至る北九州市の歴史的背景や、その過程で得た環境技術やノウハウを生かした素晴らしい事業であり、ニーズに即した環境技術を有する市内の中小企業のビジネス支援を行うことで、企業の運営安定による経済効果を狙えるだけでなく、アジア地域の低炭素化社会の実現にも近づくことが出来るので、これからも継続的に進めていくべき取り組みである。同センターにより様々な事業が行われているようですが、やはり水道事業に最も興味を惹かれました。カンボジアやベトナム、インドネシアに対して水道システムや漏水対策などの技術を輸出し、各国の水道インフラを支えていると考えると、とても誇らしいと感じました。環境モデル都市、環境未来都市として、またアジアの低炭素化に向けた拠点都市として、これからもアジア諸国へ技術輸出を続けていくことが重要である。</p>	<p>担当部署にご意見を伝えるとともに、今後の取組を進める上で、参考とさせていただきます。</p>	①
28	<p>p29 表4-1…2050年における温室効果ガス削減量の内訳で、3,170万トンのCO2のうち約7割がアジアへの技術移転等による削減である。環境モデル都市として何か対応しなくてもいいのか。</p>	<p>計画に記載のとおり、「アジア低炭素化センター」を中心として環境国際協力を推進することで、削減目標の達成に向けて取組んでまいります。</p>	①
29	<p>現在、検討を進めている北九州リサーチコンプレックス事業では、2050年のCO2▲80%の実現を超低炭素社会と位置づけ、その実現に向けた幅広い研究・実証拠点の確立を目指している。このため、本事業について、是非、温対計画に位置づけるようお願いしたい。</p>	<p>ご意見を踏まえ、追記しました。</p>	②
17	<p>2020年の削減目標と個別の取組に伴う削減見込量を積上げた値が明らかに整合していない箇所がある。更新漏れがあるのではないか。</p>	<p>ご指摘ありがとうございます。確認作業を行ったところ、数値が正確に反映できていなかった箇所があったため、該当する表(p97)を修正いたしました。</p>	②

No	意見概要	環境審議会の考え方	反映結果
7 気候変動への適応策に関するもの			
30	p109以降…「本市の取組」が記載されていない項目があるが、何も該当するものがないのか。	適応策については、まず国の地球温暖化適応計画をもとに気候変動に伴うリスクを整理し、対応する本市の施策・事業を整理したものです。今後とも、リスクの顕在化の状況や、社会的な要請などを総合的に勘案しながら、幅広く取組を進めていくこととしています。	①
31	p109以降…適応策は現状行っている取り組みをまとめるだけで、今後の取組に関するものはないのか。		①
32	紀元前の古代文明(大河のほとりに生まれた)が崩壊したほとんどは、気候変動による水の枯渇が原因であると考古学者は指摘している。また、日本の古今東西でも水が重要な役割をしてきた。その観点では、第6章 気候変動への適応策 (2)水環境・水資源について、もう少し強調すべきではないか。		①
33	p119 3計画のフォローアップ…各フォローアップ項目を挙げているが、定量的な評価が難しい適応策に関する評価手法について、どのような考え方を取り入れる予定なのか。		①
34	p121 下から6行目…「第5章に掲げた様々な取組の推進」とあるが、第6章の適応策についてはどのような取り扱いをする予定なのか。		①
35	p109以降…(再掲)が少ないのではないかと。特定の項目だけに限らない横断的な事業はもっとあるのではないかと。		①
		項目の構成については、平成27年11月に国が取りまとめた「気候変動の影響への適応計画」の内容と整合を図っており、適切な整理がなされているものと考えております。	

No	意見概要	環境審議会の考え方	反映結果
8 計画の推進に関するもの			
36	北九州市地球温暖化防止活動推進センターを指定してはどうか。	現在、県が福岡県地球温暖化防止活動推進センターを設置し、推進員を任命しており、本市も定期的な意見交換を進めています。センターの設置については、温暖化の進行状況や社会的要請などを踏まえて検討してまいります。	③
37	市民と環境のどちらにも配慮された素晴らしい事業であると感じました。この計画案を読むだけで、北九州市に住んで良かった、あるいは北九州市に住んでみたいと思う人も出てくるのではないかと思います。このような素晴らしい計画案だからこそ、もっと市民の方々に知ってもらうことが大切だと思うので、ネットや新聞、テレビやラジオなど、様々な広告媒体を用いてアピールしてほしい。	計画内容については、パンフレット作成、出前講演などを行い、取組の進捗や成果については首都レポートにとりまとめ、さらに、ていたんプレスや市政だより等を活用して広くPRしてまいります。	①
38	他の自治体に比べて、政策の内容とその結果については常にリードしていると思うが、アピールが足りないのではないか。		①
39	市の環境への取り組みは素晴らしいが、市民へイマイチ伝わっていないため、もっと見える化と積極的な広報を行った方が市民の意識も変わってくると思う。		①
40	本計画について市民・事業者の役割が大きいと思うが、どうしても何らかのインセンティブがないと行動に移せない・移さないことがあると思う。市の予算も有限であるため、これをどうするかを考えていかないといけない。	今後の取組を進める上で、参考とさせていただきます。	③

No	意見概要	環境審議会の考え方	反映結果
9 資料に関するもの			
41	p123 (3)本文…「緩和策については積極的に行うが、適応策については準備しておく」とあるが、IPCC第5次レポートでは「緩和と適応は、相互補完的な戦略であること。緩和と適応をリンクさせることでより効果的となること」とされている。本計画のような対応でいいのか。	ご意見を踏まえ、修正しました。	②
42	p18 本文中段…「バックキャスト手法」の説明を記載しているが、用語解説に掲載してはどうか。	ご意見を踏まえ、修正・追記しました。	②
43	p107 最終行…RCP8.5やRCP2.6の説明をここに掲載するの か。用語解説に掲載してはどうか。		②
44	p128 確報値と速報値の違いについて、用語解説に掲載すべき ではないか。		②
45	p144 エコアクション21…略語である「EA21」を追加してはどうか。		②
46	p145 エコドライブ…重要な施策であるにもかかわらず説明が 簡単すぎないか。		②
47	p146 企業の社会的責任…日本語より「CSR」という言葉のほ うが認知度が高いのではないか。		②
48	p149 持続可能な社会…略語である「SD」を追加してはどうか。		②
49	p149 「持続可能な開発のための教育(ESD)」を追加してはど うか。		②
50	p152 生ごみコンポスト化…重要な施策であるにもかかわらず 説明が簡単すぎないか。		②
51	p154 COP…国連のすべての条約締結国会議のことであり、 気候変動枠組み条約だけに限った名称ではない。		②

No	意見概要	環境審議会の考え方	反映結果
52	p146 「環境未来都市」構想推進協議会…用語解説として不要なのではないか。	本計画は、環境モデル都市計画の性格も有しており、計画実行の上で重要な用語であるため記載しています。	①
53	p149 「市民環境力」…専門用語でもないのに用語解説が必要か。	本市の公害克服の契機となった高い市民環境力は、本計画を推進する上でも、重要な用語であるため、記載しています。	①
54	p151 低炭素都市推進協議会…用語解説として不要なのではないか。	本計画は、環境モデル都市計画の性格も有しており、計画実行の上で重要な用語であるため記載しています。	①

No	意見概要	環境審議会の考え方	反映結果
10 その他			
55	<p>城野ゼロ・カーボン先進街区形成事業について提案させていただけるなら、区域内に幼稚園または保育園、老人ホームや介護施設を建設するのも良いのではないかと考えました。そうすることで、目標としても掲げられている子育て支援や高齢者対応につながり、また、近隣区域から移り住んで来る人の流れも期待できると思ったからです。今後は、実際の人の流れや住民の意見に注目しながら、より良い街づくりを進めていくことが重要である。</p>	<p>担当部署にご意見を伝えるとともに、今後の取組を進める上で、参考とさせていただきます。</p>	④
56	<p>混合セメント(高炉セメント)の利用は温暖化にもっとも有効なプランですが、一方、産業廃棄物の利用におきましては、環境に関する法規制の整備(水銀など)に伴う対応などで今後、設備的、技術的・経済的な負荷が増えることが容易に予想されます。環境対策設備投資などの補助金制度の仕組み作り、社会からの風評被害対策の政府への強力な働きかけをお願いします。</p>	<p>担当部署にご意見を伝えるとともに、今後の取組を進める上で、参考とさせていただきます。</p>	④
57	<p>北九州エコタウン企業群のリユース・リサイクルの効果によるCO2排出抑制効果を定量化し、CO2排出抑制量に加えてもらいたい。</p>	<p>担当部署にご意見を伝えるとともに、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、リサイクルに伴うCO2削減効果は、資源採取から精製に至る過程で生じるCO2の抑制量ですので、本市内に限らず、広く世界的に貢献するものと理解しています。</p>	④
58	<p>北九州エコタウンの企業同士が連携すれば、CO2削減効果を最大限に発揮できると考える。北九州エコタウンにおける環境負荷低減効果を有効活用する取組を推進してもらいたい。結果、リサイクル処理が促進され、ひいては雇用の維持拡大に繋がる。</p>	<p>担当部署にご意見を伝えるとともに、今後の取組を進める上で、参考とさせていただきます。</p>	④
59	<p>省エネ促進制度として既に運用されている「Jクレジット」の様なリサイクルを促進する制度を考えていただきたい。</p>	<p>担当部署にご意見を伝えるとともに、今後の取組を進める上で、参考とさせていただきます。</p>	④
60	<p>例えば排出取引の二国間クレジット的な形で、アジア地域での削減量を北九州市の削減量として換算できるような制度を市から国へ提案してはどうか。</p>	<p>担当部署にご意見を伝えるとともに、今後の取組を進める上で、参考とさせていただきます。</p>	④

No	意見概要	環境審議会の考え方	反映結果
61	<p>3) -a) 家庭にこれを期待するには、学校教育、社会教育の中でしっかりと自然体験や生物多様性、農業体験などを全ての子どもたちのいる場所で保障する必要がある。モデルでどこかできている、ということでは不足です。緑地のあり方や子どもたちの生活、教育、環境、日常のあそび環境をしっかりととのえて下さい。</p>	<p>担当部署にご意見を伝えるとともに、今後の取組を進める上で、参考とさせていただきます。</p>	④
62	<p>今、若松区ひびきの地区は、県内でいちばん多く赤ちゃん、幼児、子どもが流入してきています。この子どもたちがしっかり育ち北九州市に愛着を持って定住していくためには、緑豊かな人の縁のしっかりつながる子どもたちの生活空間が必須です。山田緑地のようなゆったりした緑地、緑草のある歩道、水道など、しっかり整えていきたいものです。プロのプレーワーカーの常駐するプレイパークをひびきのにぜひつくって下さい。</p>	<p>担当部署にご意見を伝えるとともに、今後の取組を進める上で、参考とさせていただきます。</p>	④
63	<p>北九州市は東南アジア他一部地域には、水環境対策の実績を上げているが、同時に「地球温暖化防止」の重要性を提言し、全世界に向けても同様の発信をしていくべきである。</p>	<p>担当部署にご意見を伝えるとともに、今後の取組を進める上で、参考とさせていただきます。</p>	④

「北九州市地球温暖化対策実行計画・環境モデル都市行動計画」(素案)に関する
修正内容について

I. パブリックコメントを受けての修正

2 背景と目的に関するもの

意見		計画		
No	概要	ページ	新	旧
4	「持続可能性」などの表現を入れてはどうか	2	<p>第1章 背景と目的 1全体構想(目的) (2)取組の基盤と理念</p> <p>このような状況を踏まえて、本市は、これまで培われてきた高い市民環境力をベースに、低炭素社会づくりに勇気を持ってチャレンジし、地球温暖化防止活動の推進と都市の活力増大に向けた取組を同時に推し進めていく。その成果は、国内はもとより、成長著しいアジア地域の諸都市にも都市間レベルの協力関係の中で役立てて、アジアを中心として<u>持続可能な社会の実現</u>に貢献していく。</p>	<p>このような状況を踏まえて、本市は、これまで培われてきた高い市民環境力をベースに、低炭素社会づくりに勇気を持ってチャレンジし、地球温暖化防止活動の推進と都市の活力増大に向けた取組を同時に推し進めていく。その成果は、国内はもとより、成長著しいアジア地域の諸都市にも都市間レベルの協力関係の中で役立てて、アジアを中心に世界の発展に貢献していく。</p>

3 現状分析と将来予測に関するもの

意見		計画		
No	概要	ページ	新	旧
5	水田の面積は必要ないのか	10	<p>第2章 現状分析と将来予測 1北九州市の社会的・自然的条件 (6)土地利用</p> <p><u>工業用地としての利用は7%、メタンなどの発生源である田・畑への利用は6%である。また、CO2の吸収源である森林面積は約43%である。</u></p>	<p>森林、田・畑が市全域の面積ほぼ半分を占めており、CO2の吸収源となる森林面積は約43%である。また、工業用地としての利用は7%を占める。</p>

6(1)環境が先進の街を創る

意見		計画		
No	概要	ページ	新	旧
17	表の値が整合していない箇所がある	53	<p>第5章 温室効果ガス削減に向けた具体的な取組 2(3)環境が先進の街を創る イ 温室効果ガスの削減見込み</p> <p>2020年の削減目標と個別の取組に伴う削減見込量を積上げた値を確認の上、正確に反映できていなかった箇所があったため、該当箇所について修正を行った。</p>	

6(3)環境が人を育む

意見		計画	
No	概要	ページ	
		新	
		旧	
20	自然活動や環境教育について、関連施設についての追記をお願いしたい	72	<p>第5章 温室効果ガス削減に向けた具体的な取組</p> <p>2(3)環境が人を育む</p> <p>(a)-6 子どもの環境教育の推進</p> <p>①就学前教育</p> <p>環境ミュージアムでのエネルギーやごみの問題など身近な内容の学習体験の他、<u>いのちのたび博物館でのジオツアー・ジオハイキングや山田緑地での自然体験型プログラムなどを有効活用し、さらに、絵本型環境教育副読本等の教材などを用いて、未就学児童に楽しくわかりやすく環境についての興味・関心を高める。</u></p>
22	「エコタウンセンターの見学システム」を入れてほしい	74	<p>第5章 温室効果ガス削減に向けた具体的な取組</p> <p>2(3)環境が人を育む</p> <p>(a)-9 北九州環境みらい学習システム「ドコエコ！」の推進</p> <p>環境に対する認識を深めるとともに、本市の取組みを広くPRするため、平尾台・響灘ビオトープ・曾根干潟などの自然環境、<u>環境ミュージアムでの学習体験やエコタウンセンターを中核としたリサイクル工場の見学システム、小倉都心部で展開している低炭素まちづくりなどを資源として活用し、楽しく効果的な学びをコーディネートする環境学習コンシェルジュが体験型のエコツアーを企画・提案・実施する。また、このような取組みを推進するため、民間事業やNPOが独自に行うエコツアー実施の支援を行う。</u></p>

6(5)環境がアジアの絆を深める

意見		計画	
No	概要	ページ	新 旧
29	「北九州リサーチコンプレックス事業」を計画に位置付けてほしい	93	<p>「北九州リサーチコンプレックス事業」の追記</p> <p>第5章 温室効果ガス削減に向けた具体的な取組 2(5)環境がアジアの絆を深める a-(2)北九州リサーチコンプレックス事業</p> <p>「地球温暖化対策計画(平成28年5月閣議決定)の長期目標(2050年)として示されている「温室効果ガス80%削減」が実現した社会を「超低炭素社会」と位置づけ、その実現を図るとともに、少子高齢化や産業構造の変革などの社会的課題に対応したモデルの構築を図る。</p> <p>このため、北九州産業学術推進機構を中心として、国立環境研究所や地球環境戦略研究機関、生理学研究所など先端的な研究機関と連携しつつ、九州工業大学や産業医科大、北九州市立大学、早稲田大学をはじめ幅広い研究教育機関や企業から研究者・技術者が参加した研究開発・実証拠点を形成する。さらにそのフィールドを活かして人材育成や事業化にも取組み、超低炭素社会の実現に資する技術や社会システムなどの社会実装に関わる国内外の関係者が集まる拠点の形成を図る。</p> <p>【主体】公益財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS)、関係研究教育機関 【時期】平成28年度～</p>
17	表の値が整合していない箇所がある	99	<p>第5章 温室効果ガス削減に向けた具体的な取組 2(5)環境がアジアの絆を深める イ 削減見込 エ 計画期間内に具体化する取組とスケジュール (ア)取組</p> <p>2020年の削減目標と個別の取組に伴う削減見込量を積上げた値を確認の上、正確に反映できていなかった箇所があったため、該当箇所について修正を行った。</p>

9 資料に関するもの

意見		計画		
No	概要	ページ	新	旧
41	「緩和と適応」について丁寧に説明してほしい	125	<p>第8章 資料 1 地球温暖化とは (3)今後の対応</p> <p>☒「緩和と適応の関係」を追加掲載</p>	<p>省エネルギーや高効率化などを通じて地球温暖化を防止すること(緩和)に努めることはもとより、地球温暖化による影響に対応すること(適応)についても準備しておく必要がある。 (説明のみ)</p>
42	「バックキャストイング手法」について説明がほしい	154	<p>「バックキャストイング方式」の説明を用語解説に追加掲載</p> <p><u>目標等を設定する上で、中・長期的な視点で「目指すべき将来像」を設定し、その実現に向け現時点で必要となる施策を検討し設定する手法。過去のデータや実績に基づき、現在の延長線上で目標等を設定する「フォアキャスト方式」と対照的な手法。</u></p>	
43	RCP8.5やRCP2.6の説明がほしい	158	<p>「RCP」の説明に以下の文言を追加掲載</p> <p>Representative Concentration Pathwaysの略で、「代表的濃度経路シナリオ」と訳される。IPCC 第5次評価報告書から用いられた将来予測手法で、将来の温室効果ガスの安定化レベルとそこに至るまでの経路のうち代表的なものを選んだシナリオ。これにより例えば「気温上昇を0℃に抑えるためには」と言った目標主導型の社会経済シナリオを複数作成して検討することが可能となっている。</p> <p><u><IPCC第5次評価報告書で用いられた主なシナリオ></u> <u>RCP8.5…「高位参照シナリオ」。放射強制力の上昇が続き、2100年において、気温は工業化以前と比べて5℃程度上昇するシナリオ。</u> <u>RCP2.6…「低位安定化シナリオ」。放射強制力が、2100年以前にピークアウトし、その後減少していくシナリオ。</u></p>	<p>「RCP」</p> <p>Representative Concentration Pathwaysの略で、「代表的濃度経路シナリオ」と訳される。IPCC 第5次評価報告書から用いられた将来予測手法で、将来の温室効果ガスの安定化レベルとそこに至るまでの経路のうち代表的なものを選んだシナリオ。これにより例えば「気温上昇を0℃に抑えるためには」と言った目標主導型の社会経済シナリオを複数作成して検討することが可能となっている。</p>

意見		計画		
No	概要	ページ	新	旧
44	「確報値と速報値」の違いについて説明してほしい	147	<p>「温室効果ガス排出量(確報値)」の説明用語解説に追加掲載</p> <p>我が国の温室効果ガス排出量として気候変動枠組条約の事務局に正式に提出する値。また、国は、「確報値」とは別に、最新の排出状況を把握するため、燃料消費量等の暫定的な統計データを用いて算定した「速報値」を公表している。</p>	
45	エコアクション21の略語「EA21」を追加してほしい	156	<p>「EA21」の用語解説を追加掲載</p> <p>⇒<u>エコアクション21</u></p>	
46	エコドライブの説明を詳しくしてほしい	147	<p>「エコドライブ」の説明をより詳細に変更</p> <p><u>自動車走行時のガソリンなどの燃料消費により発生するCO2の抑制を図るための適正な整備及び適切な運転方法。具体的には、無駄なアイドリングを止める、タイヤの空気圧の点検・整備、日々の燃費を把握などが挙げられる。また、交通事故の抑制にも繋がる</u>ことが期待されている。</p>	「エコドライブ」 <u>自動車等の運行に伴い発生し、大気中に排出されるCO2の量を削減するための、適正な整備及び適切な運転方法。</u>
47	「企業の社会的責任」の略語「CSR」を追加してほしい	149 156	<p>「CSR」に説明文を掲載</p> <p><u>Corporate Social Responsibilityの略。企業活動において、経済的利益の追求に加え、社会的公正や環境などへの配慮を組み込み、従業員、投資家、地域社会などの利害関係者に対して責任ある行動をとるとともに、説明責任を果たすことを求める考え方。</u></p>	「企業の社会的責任」 企業活動において、経済的利益の追求に加え、社会的公正や環境などへの配慮を組み込み、従業員、投資家、地域社会などの利害関係者に対して責任ある行動をとるとともに、説明責任を果たすことを求める考え方。
48	「持続可能な社会」の略語「SD」を追加してほしい	151	<p>略称(SD)を追加掲載</p> <p>持続可能な社会(SD)</p>	持続可能な社会

意見		計画		
No	概要	ページ	新	旧
49	「持続可能な開発のための教育(ESD)」の説明がほしい	149	「持続可能な開発のための教育(ESD)」の説明を用語解説に追加掲載 <u>環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そして、持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動であり、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育。</u>	
50	「生ごみコンポスト化」の説明を詳しくしてほしい	154	「生ごみコンポスト化」の説明をより詳細に変更 <u>生ごみを微生物の活動により分解し、有用な堆肥として利用できるようにすること。家庭用の道具としては、土中の微生物を活用する「土中埋め込みタイプ」、嫌気性発酵を行う「密閉タイプ」、好気性発酵を行う「消滅処理タイプ」がある。</u>	<u>生ごみを微生物の動きによって分解し堆肥として利用できるようにすること。</u>
51	「COP」気候変動枠組み条約だけに限った名称ではない	156	「COP」の説明をより詳細に変更 Conference of Partiesの略で、 <u>広くは国連のあらゆる条約下の「締約国による会議」を指す。「気候変動枠組条約」の下では、1995年にドイツのベルリンで第1回締約国会議(COP1)が開催されて以来、毎年開催されている。</u>	Conference of Partiesの略。「気候変動枠組条約」の締結国による会議。 1995年にドイツのベルリンで第1回締約国会議(COP1)が開催されて以来、毎年開催されている。

II. その他の修正

意見		計画		
概要	ページ	新	旧	
市役所の率先実行について、エネルギー消費量はどうなっているのか	100	第5章 温室効果ガス削減に向けた具体的な取組 3 市役所の率先実行(地球温暖化対策実行計画・事務事業編) (2)現況 「ア 事務事業によるエネルギー消費量」「イ 事務事業によるCO2排出量」についての説明とグラフに追加・差替え	「市役所の事務事業におけるCO2排出量」の表のみ掲載	